

令和元年度京都府小学校教員外国語（英語）指導力向上事業の委託先
業者募集に係る質疑応答

令和元年 8 月 16 日
京都府教育庁指導部学校教育課

【質問 1】本事業について

これまでの本事業の民間委託の実績はありますか。その場合は、過去の業者名や実施内容、契約金額を教えてください。

【回答】

小学校教員を対象とした研修は今年度初めて開催します。なお、類似の研修として中学校英語教員 100 名程度を対象とした研修は今年度も実施しており、内容等は以下のとおりです。

- ・研修内容 10 名程度を 1 グループとし、1 グループ当たり 1 名以上のネイティブスピーカーが講義を行う。3 時間単位の研修を 3 日に分けて実施。
- ・委託業者 株式会社アルク
- ・契約金額 2,230,800 円（税込）

【質問 2】募集要領「7 業務内容」について

プレゼンテーション及びヒアリングの日程・場所は決まっていますか。

【回答】

いずれも 9 月 6 日（金）午後に、京都産業大学むすびわざ館での実施を予定しています。

【質問 3】募集要領「9 契約手続き」について

契約保証金の免除に関して、方法・期限を教えてください。

【回答】

本事業に係る契約に至るまでに、契約相手方となる事業者様が京都府会計規則 159 条第 2 項各号に該当すると確認できる可能性が高いので、契約保証金については免除となる見込みです。契約保証金の納付が必要な場合は、契約手続きの際に御連絡します。

【質問 4】仕様書「5 履行場所」「7 業務内容」について

研修実施日の具体的な会場名、部屋数、実施日程を教えてください。

【回答】

10 時 30 分から 17 時まで（昼休憩 1 時間含む）、京都府総合教育センター（京都市伏見区）内の研修室等 10 部屋での実施を予定しています。

【質問 5】仕様書「6 研修受講対象」について

受講対象者の現在の英語力や英語指導力はどれくらいでしょうか。

【回答】

受講対象者の英語力及び英語指導力を測定しておりませんので、データとして提示することはできませんが、ほとんどの受講者は英語の教員免許を持っておらず、中学校、高等学校の英語教員のように研修は進められないことを想定し、指示や活動内容が理解できているかどうかを確認しながら進めていただく必要があります。また、受講者の様子については、本事業の一環として本研修に先立って実施した研修の映像を参照してください。

【質問 6】仕様書「7 業務内容」について

(1) ア「研修の講師はネイティブスピーカーとする」とありますが、各グループ以外に講師以外の日本人のスタッフが入る必要はありますか。

【回答】

提案の内容によっては、日本人のスタッフが数名で教室を巡回して、活動の支援をいただくことも必要だと考えています。

質問5に対する回答もあわせて参照してください。

【質問 7】仕様書「7 業務内容」について

(1) ア「研修の講師はネイティブスピーカーとする」とありますが、英語が母国語でなくても、ネイティブスピーカーと同等の英語力・指導力を持つ外国人を登用することは可能ですか。

【回答】

英語を母国語としていなくても、公用語として使用しており、ネイティブスピーカーと同等の英語力・指導力を持つ外国人の方でも講師になっていただけます。

ただし、受講者のリスニングのレベルは様々であることが予想されますので、受講者の様子を見て話すスピードを変更するなど、配慮をしながら進行していただければと考えています。

【質問 8】仕様書「7 業務内容」について

(1) ア「研修の講師はネイティブスピーカーとする」とありますが、ネイティブスピーカーが進行も含め英語で参加者に研修を行うことを御希望ですか。それとも、進行は日本語で行うことを御希望ですか。

【回答】

活動については英語でやり取りをお願いしたいですが、英語の指示等をすべて聞き取ることが難しい場合は、受講者同士で日本語で確認するよう促すなどの工夫が必要になるかもしれません。

【質問 9】仕様書「7 業務内容」について

(1) イ「12 名～13 名につき 1 グループで、1 グループにつき 1 名以上の講師が入る」とありますが、グループごとに研修が進行していくという構想ですか。全体会とグループワークという構成も可能でしょうか。

【回答】

基本的には 1 グループごとに研修が進行していくと考えていただいて結構ですが、全体会を行うことが効果的と考えられる場合は、全体会を行っていただくことも可能です。

【質問 10】仕様書「7 業務内容」について

(1) イの受講者のグループ分けはどのように行われるのでしょうか。

【回答】

本府の担当者が受講者所属校の地域に配慮した上でグループ分けを行います。

【質問 11】仕様書「7 業務内容」について

(1) 演習では学級担任のみで円滑な授業展開ができるようにすることを目標としますか。それとも、ALT とのティーム・ティーチング形式での授業展開を練習するなど、指定はありますか。

【回答】

基本的に学級担任が一人で授業を展開できることを目標としています。また、新教材 We Can!等を使って児童とスモールトークのやり取りができたり、Let's Listen 等の活動の中でやり取りをしながら授業が展開できるなどの指導力向上を目的としています。文部科学省作成の「研修ガイドブック」(文部科学省ホームページよりダウンロード可能)を御参照ください。

【質問 12】仕様書「7 業務内容」について

(1) 研修で扱う教材は、We Can!や Let's Try!等の指定はありますか。

【回答】

使用する教材に指定はありませんが、できるだけ We Can!を使った授業で活かせる内容にしていきたいです。

【質問 13】仕様書「7 業務内容」について

(1) 研修当日、We Can!やLet's Try!等のデジタル教材は使用できますか。また、その際の設備（プロジェクタ・スクリーン・PC等）は会場に設置できるものを使用できますか。

【回答】

We Can!やLet's Try!等のデジタル教材は使用できません。また、教材を持参いただいても設備がありませんので、使用不可です。受講者の当日の持参物としてWe Can!、Let's Try!を指定することは可能です。

【質問 14】仕様書「7 業務内容」について

(2) 効果的な自主学習とは、具体的にどのようなものを想定されているのでしょうか。例えば、オンライン学習などを提案した場合、実施できる環境はあると考えてよろしいのでしょうか。

【回答】

独自に作成された教材やオンライン学習（各受講者の自宅等で）を想定していますが、文部科学省が作成した「研修ガイドブック」を活用した自主学習の提案等も考えられます。